



D.REPORT

第106期年次報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで



大建工業株式会社

証券コード 7905

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第106期連結会計年度（2021年4月1日から
2022年3月31日まで）における当社グループの事業の
概況をご報告申し上げます。

代表取締役
社長執行役員 億田 正則



当連結会計年度のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が続いたものの、ワクチン接種の普及に伴う重症化リスクの低減などにより、持ち直しの動きがみられました。海外経済につきましては、米国を中心に回復が進んだ一方で、新型コロナウイルス感染症の影響に、地政学リスクの増大に伴う資源価格の高騰やサプライチェーンの混乱などが加わり、年度後半にかけて不確実性が急激に高まる状況となりました。

国内市場におきましては、石化製品や木質原料などの原材料価格やエネルギーコスト、海運コストなどが上昇する厳しい状況が続く一方、外出自粛や在宅勤務の浸透により、自宅で過ごす時間が増え、より快適な住環境を求める消費者ニーズが高まり、新築住宅市場、リフォーム市場向けの需要が堅調に推移しました。公共・商業建築分野におきましては、商業施設・宿泊施設の工事減少の影響が続いたものの、当社独自素材「ダイライト」を基材として活用した不燃製品やオフィス等の音環境を改善する製品の採用が広がりました。また、これら堅調な需要による想定を上回る受注増に、世界的な海上輸送の混乱に伴う原材料の入荷遅れが重なり、第4四半期連結会計期間に建材事業の一部製品で納期遅延が発生し、受注を制限せざるを

得ない状況となりました。

海外市場におきましては、国内同様に各種コストアップによる影響が続く中、米国を中心とした経済回復による家具・建材用途での需要増や南洋材合板の調達難に伴う代替需要増により、MDFに対する引き合いが強まる状況となりました。米国では、住宅需要の好調さが継続するとともに、木造住宅の構造材として使用されるLVLの販売価格に影響を与える木材製品の市況価格も高水準で推移しました。

このような経営環境の中、当社グループは、中期経営計画『GP25 2nd Stage』（2019-2021年度）の最終年度にあたり、基本方針として掲げる「事業（市場）ポートフォリオの見直し」を着実に推し進めるべく、国内市場では、公共・商業建築分野に対しましては、抗ウイルス、不燃、吸音・防音などの機能製品の提案を進めるとともに、今年度新たに参画した他社共創型のコンソーシアムにおきまして、より快適なオフィス空間の提案力強化に向けた取り組みを進めました。住宅リフォーム市場に対しましては、在宅勤務時のワークスペースを確保する製品や工期短縮につながる製品の提案に加え、首都圏で手掛けるマンションリノベーションの拡大を図りました。

海外市場では、MDFの収益性改善に向けた構造改革を推進するとともに、前述のコストアップに対しまして、自助努力で吸収しきれない部分につきましては、売価への転嫁を進めました。また、住宅市場の好調が続く米国におきましては、グループ間連携強化によるLVLの安定供給や防腐LVL、高強度LVLなどの高付加価値製品の販売強化に努めました。

この結果、当連結会計年度の業績は、次のとおりとなりました。

(連結業績)	(単位:百万円)			
	2021年 3月期	2022年 3月期	増減額	増減率
売上高	199,210	223,377	24,167	12.1%
営業利益	8,779	17,361	8,582	97.8%
経常利益	9,935	18,725	8,790	88.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,620	7,872	2,252	40.1%

売上高につきましては、前期末に国内MDF販売子会社を売却したことに伴う減少や第4四半期連結会計期間における建材事業の一部製品の納期遅延・受注制限による販売減の影響はありましたものの、海外市場でのMDFやLVLの販売増に円安効果も加わり、増収となりました。

利益につきましては、米国でのLVLの販売価格が高水準で推移したこと、また、原材料等のコストアップに対しまして、合理化・コストダウンや売価への転嫁を進めたことにより増益となりました。

なお、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、いずれも過去最高となりました。

今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響

に加え、地政学リスクの増大に伴う資源価格の高騰やサプライチェーンの混乱、金融資本市場の変動など、極めて不確実性の高い状況が続くことが見込まれています。特に石化製品や木質原料などの原材料価格、エネルギーコスト、海運コストの高騰が想定されていることから、より一層の合理化・コストダウンに努めるとともに、自助努力で吸収しきれない部分につきましては、売価への転嫁を進めてまいります。

国内市場におきましては、衛生対策や音環境の向上などコロナ禍のニューノーマルに対応した新製品投入やTOTO(株)、YKK AP(株)との3社アライアンスによるオンライン大規模フェアの開催などにより、提案力の強化を図ってまいります。

海外市場におきましては、世界的に木材製品の需給が引き締まる中、家具・建材用途での需要増や南洋材合板の調達難に伴う代替需要増により、MDFに対する引き合いが強まっています。これらの状況に対しまして、グループ4工場での収益性向上に向けた事業構造改革の推進に努めてまいります。

また、米国におきましては、中長期的には人口増やストック住宅の不足を背景とした底堅い住宅需要が見込まれるものの、物価上昇や金利上昇による需要への影響が懸念されるとともに、木材製品の市況価格が調整局面に入ることが想定されます。これらの状況に対し、グループ連携強化によるLVLの安定供給と高付加価値製品の拡販に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

売上高構成比

取扱商品

業績の概要

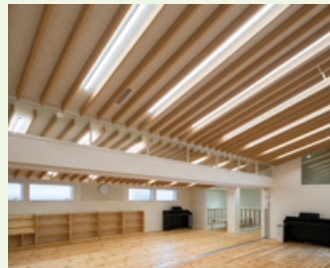
素材事業



44.9%



▲「ダイケン健やかおもて」を用いた空間イメージ



▲ダイライトを基材として活用した不燃造作材「グラビオルーバー」の施工例

売上高
1,001億77百万円
24.1%増

営業利益
129億58百万円
247.2%増

素材事業につきましては、売上高は、前期末に国内MDF販売子会社を売却したことに伴う減少はありましたものの、海外市場でのMDFや米国住宅市場でのLVLの販売増、国内の新築住宅市場、リフォーム市場向けの豊用資材の販売増、公共・商業建築分野向けのダイライトの販売増などにより、増収となりました。

利益につきましては、上記の増収効果に加え、原材料価格や海運コストの上昇に対し、合理化・コストダウンや売価への転嫁を進めたこと、また、米国における好調な住宅需要を背景に木材製品の市況価格が高水準で推移したことや、防腐LVLや高強度LVLといった高付加価値製品の拡販に努めたことなどにより、増益となりました。

(素材事業の業績)

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減額	増減率
売上高	80,692	100,177	19,484	24.1%
営業利益	3,732	12,958	9,225	247.2%

建材事業



41.1%



▲ドア:「ハピア」、床:「ハピアフロア」



▲天井用吸音パネル「KIN TONE (キントーン)」の施工例

売上高
919億7百万円
3.6%増

営業利益
26億80百万円
34.3%減

建材事業につきましては、売上高は、第4四半期連結会計期間におけるドア・床材の納期遅延・受注制限による販売減の影響はありましたものの、第3四半期連結累計期間の新築住宅市場、リフォーム市場、公共・商業建築分野向けの床材・ドア・音響製品の販売増などにより、増収となりました。

利益につきましては、合板等の原材料価格の上昇に対し、合理化・コストダウンや売価への転嫁を進めたものの、納期遅延・受注制限による第4四半期連結会計期間の減収影響も重なったため、吸収するには至らず、減益となりました。

(建材事業の業績)

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減額	増減率
売上高	88,697	91,907	3,210	3.6%
営業利益	4,076	2,680	△1,396	△34.3%

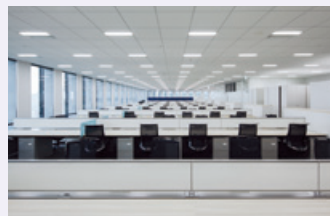
エンジニアリング事業



9.1%



▲マンションリノベーションの事例



▲「ダイロートン」の施工例 (中之島フェスティバルタワー・ウエスト)

売上高
202億64百万円
1.4%減

営業利益
9億52百万円
87.5%増

エンジニアリング事業につきましては、オフィスビル等の内装工事の減少などにより減収となりましたものの、首都圏で手掛けるマンションリノベーションが好調に推移したことなどにより、収益性が高まり、増益となりました。

(エンジニアリング事業の業績)

(単位:百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減額	増減率
売上高	20,542	20,264	△278	△1.4%
営業利益	508	952	444	87.5%

※上記の他、その他の事業が4.9%あります。

「DAIKEN地球環境ビジョン2050」を策定

温室効果ガスの排出量実質ゼロ、廃棄物の最終埋立処分量ゼロ、ラワン材の使用ゼロを目指す

当社は、環境問題への長期的な取り組み姿勢と方針、目標を定めた「DAIKEN地球環境ビジョン2050」を策定しました。

“笑顔あふれる未来”のために、DAIKENグループでは企業活動を通じた環境課題への取り組みをより一層強化することとし、環境方針として①資源循環の推進(廃棄物の削減、資源の再利用)、②気候変動の緩和(カーボンニュートラルの実現)、③自然との共生(生物多様性の保全)を掲げました。また、具体的な目標として、2050年までに「温室効果ガスの排出量実質ゼロ」、「廃棄物の最終埋立処分量ゼロ」、「ラワン材の使用ゼロ」の3つの達成を目指してまいります。



▲DAIKEN地球環境ビジョン2050

GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」に初選定

DAIKENグループレポートの内容充実度が評価

当社の統合報告書「DAIKENグループレポート2021」が、世界最大規模の年金基金であるGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)の国内株式運用機関(以下、運用機関)が選ぶ「優れた統合報告書」に初めて選出されました。本選定は、各運用機関がそれぞれ最大10社の統合報告書を選定して決定されるもので、今年度は当社を含む77社が選ばれています。

当社の統合報告書は、コミュニケーションツールとして幅広く活用されており、毎年、ステークホルダーとの対話を通じて得られた意見をもとにブラッシュアップを行っています。2021年度版では、改めて当社グループが歴史を経て培ってきた強みを4つに整理して明確に示すとともに、カーボンニュートラルへの貢献についてのページを新設するなど、さらなる内容の充実を図りました。



▲DAIKENグループレポート2021

2021年
9月21日
発売

非住宅向け壁面吸音パネル「OFF TONE (オフトーン) マグネットパネルN」を発売

120色もの多彩なバリエーションでオフィスを彩り、音環境を改善

9月21日、スチール製などの壁面に取り外し可能な非住宅向け壁面吸音パネル「OFF TONE (オフトーン) マグネットパネルN」を発売しました。

2016年に発売した「OFF TONE (オフトーン) マグネットパネル」が、優れた吸音効果はもちろん、オフィス空間にアクセントを加えるデザイン性も評価され、着実に販売実績を増やす中、デザインバリエーションの拡充や、レイアウトしやすい小判サイズ化を求める声もあったことから、今回、フルリニューアルを実施。色柄をおしゃれなファブリック調の6柄120色に大幅拡充したほか、使いやすさや見栄えを考慮したサイズへの変更などを行っています。

今回のリニューアル発売を機に、製品性能を訴求する動画の公開など、販売強化に向けた各種ツールも拡充することで、非住宅市場に向けてさらなる提案力強化を図ってまいります。



▲「OFF TONE (オフトーン) マグネットパネルN」を用いた空間イメージ

2021年
9月1日
運用開始

機械すき和紙おもて「ダイケン健やかおもて」が「抗菌防臭加工」のSEKマークを取得

安心の畳空間を提案

機械すき和紙おもて「ダイケン健やかおもて」が、一般社団法人繊維評価技術協議会の「抗菌防臭加工」SEKマーク認証を取得し、9月1日より認証マークの運用を開始しました。SEKマークは、繊維上の細菌の増殖を抑制し、防臭効果(※)を示す加工のうち、認証基準を満たすものに与えられる認証です。同機械すき和紙おもてを使用しているインテリア畳「こころ和座」の全品目についても、表面材の畳おもて部分について、「SEKマーク認証製品」として取り扱われます。

当社は今後も、同製品のさらなる普及、拡大などを通して、皆様の安心・安全な暮らしを担う空間づくりに貢献してまいります。

※この防臭効果とは、抗菌作用によって細菌の増殖を抑え、臭いの発生を防ぐことを表しており、消臭効果とは異なります。



▲「ダイケン健やかおもて」を用いた空間イメージとSEKマーク

連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2021年3月31日現在	当連結会計年度 2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産	87,748	102,286
固定資産	84,752	81,077
有形固定資産	50,915	49,451
無形固定資産	15,002	14,972
投資その他の資産	18,835	16,654
繰延資産	51	27
資産合計	172,553	183,391

科目	前連結会計年度 2021年3月31日現在	当連結会計年度 2022年3月31日現在
負債の部		
流動負債	65,956	74,280
固定負債	29,825	18,547
負債合計	95,781	92,828
純資産の部		
株主資本	60,877	66,395
その他の包括利益累計額	7,165	10,091
非支配株主持分	8,728	14,075
純資産合計	76,771	90,563
負債純資産合計	172,553	183,391

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	当連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	199,210	223,377
売上原価	148,328	160,210
売上総利益	50,881	63,167
販売費及び一般管理費	42,102	45,805
営業利益	8,779	17,361
営業外収益	1,693	1,661
営業外費用	537	298
経常利益	9,935	18,725
特別利益	1,623	1,203
特別損失	588	1,664
税金等調整前当期純利益	10,970	18,264
法人税等合計	3,687	5,188
当期純利益	7,283	13,076
非支配株主に帰属する当期純利益	1,662	5,203
親会社株主に帰属する当期純利益	5,620	7,872

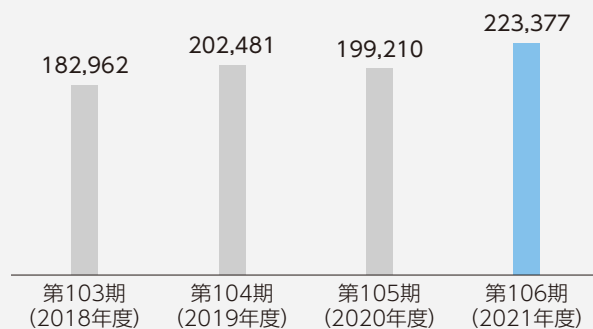
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

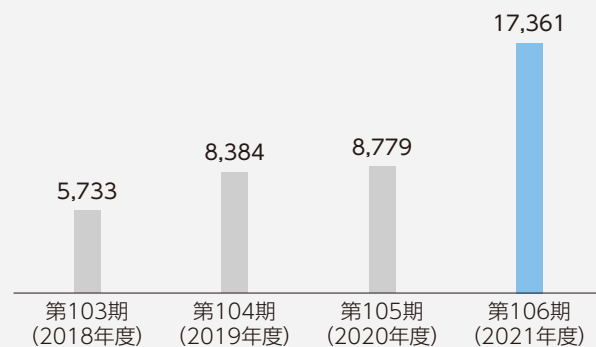
科目	前連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	当連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	12,254	16,834
投資活動による キャッシュ・フロー	△910	△6,636
財務活動による キャッシュ・フロー	△11,369	△10,737
現金及び現金同等物に係る 換算差額	619	513
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	594	△25
現金及び現金同等物の 期首残高	16,839	17,433
現金及び現金同等物の 期末残高	17,433	17,407

連結業績の推移

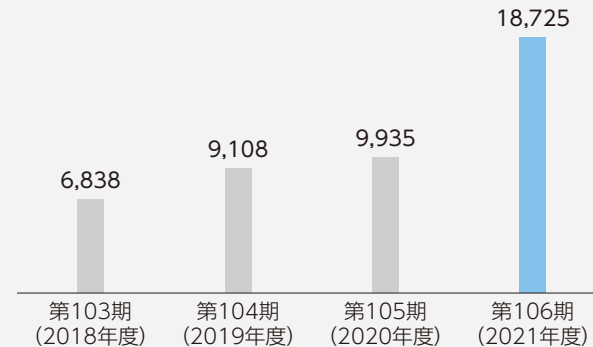
売上高 (単位:百万円)



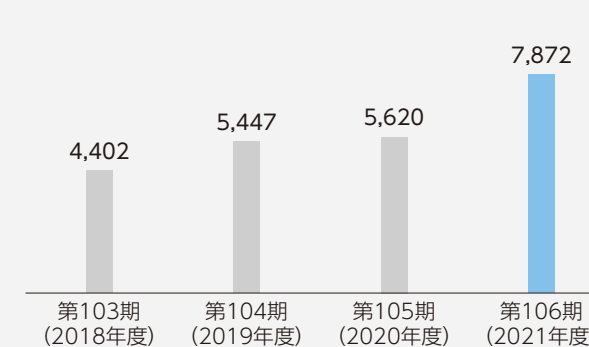
営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



会社データ

CORPORATE PROFILE

会社の概要

(2022年6月24日現在)

設立年月日 1945年9月26日
 資本金 153億円
 本社及び事業所
 本店 富山県南砺市井波1番地1
 本社大阪事務所 大阪市北区中之島三丁目2番4号
 東京事務所 東京都千代田区外神田三丁目12番8号
 支店 北海道支店(札幌市)、東北支店(仙台市)、首都圏第一支店(東京都千代田区)、首都圏第二支店(さいたま市)、首都圏住設支店(東京都千代田区)、信越支店(新潟市)、中京支店(名古屋市)、北陸支店(金沢市)、近畿支店(大阪市)、中国支店(広島市)、四国支店(高松市)、九州支店(福岡市)、シンガポール支店
 工場 三重工場(津市)、井波工場(富山県南砺市)、岡山工場(岡山市)、高萩工場(茨城県高萩市)
 子会社(国内) 株式会社ダイフィット(鳥取県倉吉市)
 株式会社ダイウッド(三重県伊賀市)
 セトウチ化工株式会社(岡山市)
 富山住機株式会社(富山県砺波市)
 株式会社テーオーフローリング(東京都練馬区)
 株式会社ダイタック(岡山市)
 会津大建加工株式会社(福島県会津若松市)
 日南大建株式会社(鳥取県日野郡日南町)
 エコテクノ株式会社(東京都千代田区)
 ダイケンエンジニアリング株式会社(大阪市)
 鉱工業株式会社(東京都千代田区)
 三恵株式会社(大阪府東大阪市)
 株式会社スマイルアップ(大阪市)
 株式会社リフォームキュー(東京都品川区)
 株式会社パックシステム(東京都品川区)
 子会社(海外) 大建工業(寧波)有限公司(中国)
 大建阿美昵体(上海)商貿有限公司(中国)
 PT.DAIKEN DHARMA INDONESIA(インドネシア)
 DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED(ニュージーランド)
 DAIKEN SOUTHLAND LIMITED(ニュージーランド)
 DAIKEN SARAWAK SDN.BHD.(マレーシア)
 DAIKEN MIRI SDN.BHD.(マレーシア)
 CIPA Lumber Co.Ltd.(カナダ)
 PACIFIC WOODTECH CORPORATION(米国)

役員

(2022年6月24日現在)

取締役

代表取締役 億田正則
 代表取締役 野村孝伸
 取締役 永田武
 取締役 真木正寿
 取締役 常勤監査等委員 相原隆
 取締役 常勤監査等委員 照林尚志
 社外取締役 監査等委員 石崎信吾
 社外取締役 監査等委員 浅見裕子
 社外取締役 監査等委員 向原潔

執行役員

社長執行役員 億田正則
 副社長執行役員 播磨哲男
 常務執行役員 野村孝伸
 常務執行役員 飯沼友明
 常務執行役員 永田武
 常務執行役員 松川保
 上席執行役員 伊藤雅英
 上席執行役員 東出雅彦
 上席執行役員 郷原秀樹
 上席執行役員 森野勝久
 上席執行役員 上田浩二
 執行役員 伊勢田正児
 執行役員 金田正樹
 執行役員 伊藤圭

株式データ

STOCK INFORMATION

株式の状況

(2022年3月31日現在)

発行可能株式総数 79,643,600株
 発行済株式の総数 27,080,043株
 株主数 4,490名

大株主の状況

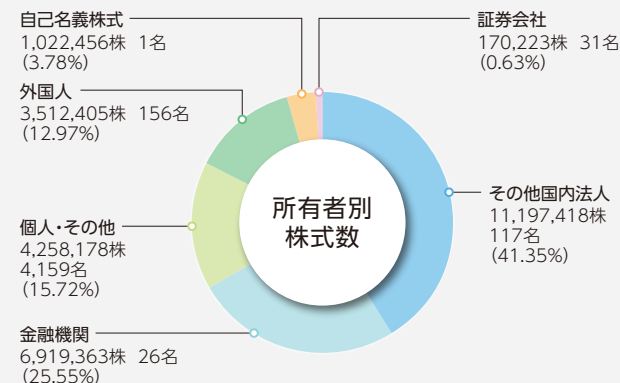
(2022年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	9,475,300	36.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,253,800	8.6
株式会社三井住友銀行	986,980	3.8
住友生命保険相互会社	931,200	3.6
大建工業取引先持株会	824,600	3.2
大建工業従業員持株会	729,539	2.8
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	614,400	2.4
日本生命保険相互会社	545,669	2.1
農林中央金庫	463,667	1.8
株式会社ジューテック	376,390	1.4

(注) 1. 当社は、自己株式を1,022,456株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況

(2022年3月31日現在)



当社のホームページでも
 詳しい情報を開示しております。
<https://www.daiken.jp/>

大建工業 検索

株主・投資家情報
 TOPページ
 「株主・投資家情報」を
 クリックしてください。



情報サイトの一部

「株主・投資家の皆様へ」では、社長メッセージをはじめ、決算短信・業績ハイライト・有価証券報告書などの各種財務情報や、招集通知などのRイベント情報など、豊富なデータがご覧いただけます。



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)
(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
(よくあるご質問(FAQ)) https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal >>



【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトで確認いただけます。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設してあります。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 電子公告(当社のホームページに掲載する)
<<https://www.daiken.jp/>>

上場金融商品取引所 東京証券取引所

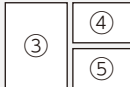
表紙写真について



① 公共施設(地域づくりの総合拠点)に採用された土足対応WPC床材「コミュニケーションタフ DW」
<オーク(クリア)><オーク(アンバー)><チェリー><栗>



② オフィス向け吸音パネル「OFF TONE(オフトーン) マグネットパネルN」<RF柄(01)>



③ 集成材カウンターや集成材飾り棚などを用いた在宅勤務に適した空間イメージ



④ オフィス向け吸音パネル「OFF TONE(オフトーン) マグネットパネルN」を用いたシェアオフィスの半個室空間



⑤ 特殊加工化粧シート床材「トリニティ」<バーチ柄(グレー)>

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

UD FONT